



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30 会 長 尾 崎 敬 則
幹 事 村 上 泰 啓 会 報 委 員 長 小 原 一 眞

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2315
2017-3-17

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
http://www.osaka-johnan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30

Rotary  Rotary Serving Humanity
人類に奉仕するロータリー

2016-2017年度国際ロータリー会長 ジョン・ジャーム

本日の例会) 3月17日(第3例会)

- 新会員入会式
宮田正人氏 (経営相談)
- 3分間情報
岩永建保会員
- 卓話 「明日につなぐ」
創立 50 周年に向け、城南の歴史と原点
を想起 今を大切に 初心に返り 明日
に夢をつなごう。
畑田 豊会員
- 次年度理事会 11:30 ~ 12:10
シェラトン都ホテル大阪 3階 ホワイエ

次週のお知らせ) 3月24日(第4例会)

- 卓話 「建築業界の話」
昨今世間を騒がせている建築業界の
諸問題についてお話しします。
小原一眞会員
- 食膳 〈中国 円卓料理〉

次々週のお知らせ) 3月31日(第5例会)

- 卓話 「身辺雑事」
鈴木良造会員

先週の記事) 3月7日(第2例会)

- 出席報告
出席会員 32 名 (内免除会員 8 名)
会員総数 50 名 (同上 17 名)
ゲスト 1 名
ビジター 0 名
計 33 名
ホームクラブ出席率 80.00%

2月24日(第4例会) 補正出席率 97.72% (MU 1名)

- ゲスト&ビジター (敬称略)
張 淵 (米山奨学生)
チョウ エン

◆ ガバナー補佐ご挨拶 ◆

「IM第8組合同例会の経緯と趣旨」

ガバナー補佐 田中研一氏

本日はIM第8組合同例会に松本ガバナー他、地区
役員の皆様や多数の8組9クラブ会員の皆様のご参
加を頂きありがとうございます。

少しこの合同例会の経緯や趣旨をご案内させて頂
きます。

従来から8組の中には「八輪会」なる9クラブの会長、
幹事の会があり、大変なごやかな雰囲気の中でクラブ
同士の交流が図られてきましたが、「もっと広くクラブ
会員同士の交流や研鑽を」との川上パスト・ガバナー
補佐の発議により、9クラブ全体での「合同例会」が一
昨年からは始まりました。

第1回は大阪平野RC様のホストのもと、泉パスト・
ガバナーに「ロータリー講話」を頂き、昨年大阪城南
RC 境ガバナー補佐の第2回は、「貴方のRC入会の動
機は」をテーマに活発なグループディスカッションを
実施、毎回有意義な時間を持って参りました。今年は、
各所で大活躍の講談師、旭堂南海氏に「大阪における
ロータリーの夜明け」と題して、ロータリー黎明期の先
人諸氏の情熱とご苦勞を臨場感一杯に語って頂き、
皆様にその熱い思いに触れて頂ければと感じていま
す。なお、川柳に「講釈師、見てきたようにうそを言い」
とありますが、今回のお話は全て本当の話であります。

今、ロータリーの「変革」や「柔軟性」が盛んに論じら
れる中、会員皆様それぞれの「自分のロータリー」を
考えて頂く判断の一助になれば幸いです。

最後に本会の一番の目的は9クラブ会員相互の懇
親であります。限られた時間ではありますが、是非、友
情の輪を広げて頂きますようお願い致します。

3月は水と衛生月間です!!

〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

◆ 大阪イブニング RC 会長ご挨拶 ◆

「IMロータリーデー参加お願い」

大阪イブニングRC会長 末吉 勘四郎重久氏
本日は遅くまでお疲れ様です。この場をお借りしてロータリーデー開催の件を申し上げたいと思います。少しお時間頂戴いたします。

来る4月22日(土)天王寺都ホテルにて開催いたします。本来なら各クラブを訪問し参加のお願いをしなくてはならないと思いますが、IM8組の合同例会がありますのでその時に参加のお願いをしたいと思います。

是非とも全員参加とまではいきませんが、クラブ全員登録の上、多くのロータリアンのご参加よろしくお願ひいたします。

「都市における大災害に備えて」と題して開催したく思います。

ここしばらくは東南海地震の事もマスコミなどでは記事的には減少していますが、常時頭の中にはその考えを入れて活動しなければならないと思います。ロータリアンは家族や従業員の事、またその家族、近隣住民の事も視野に入れておかねばならないと考えます。でないと、大阪の経済活動が止まってしまいます。

第一段階の災害発生時から48時間は備蓄品で補う。第二段階は？ 第三段階頃では電気も開通すると思われれます。

このように段階を踏んで考えておかねばと考えます。

災害はいつ発生してもおかしくない状況を今一度考えていただきたいと思います。大阪市の避難所の備蓄食料は微々たるものです。500人規模では食事すら当たりません。備蓄倉庫から持ってくるとしても道路状況等にて時間がかかると考えますので、普段から少しずつでも準備しておかねばならないと考えます。

今回は、テレビや新聞でもおなじみの防災の権威でおられます河田恵昭(かわた よしあき)様にご講演をお願いいたしましたので、多くの皆さまのご参加よろしくお願ひし、この場をお借りしご挨拶とさせていただきます。

本日はありがとうございました。



▲松本ガバナー



▲片山ガバナー・エレクト



▲末吉 勘四郎重久IM8組ガバナー補佐エレクト



▲講談師 旭堂南海氏【演題 大阪におけるロータリーの夜明け】

(編集担当 岡部(倫)・山本(智))

会員増強にご協力を!!